



# 第1期計画振り返り及び考察

# 目的(めざす姿)国保被保険者の健康寿命の延伸と医療費の適正化

## Plan

### 健康課題

#### 糖尿病性腎症患者の減少

- ・患者一人当たり医療費が高額な疾病は、腎不全である。
- ・人工透析が必要になった主な原因は生活習慣病中でも糖尿病が多く占めている。
- ・市民の慢性腎臓病(CKD)の認知度が低く、正しい知識の普及が必要。
- ・生活習慣病対策、特に糖尿病対策が必要。

#### 脳内出血による死亡率減少

- ・死因順位では、悪性新生物・心疾患の次に小山市では「脳血管疾患」となっている。
- ・一人当たりの医療費が高く、高額レセプトといわれる要因の上位を占めている。
- ・標準化死亡率(SMR)が県平均よりも高く、経年的にも増えている。

#### 大腸がんによる死亡率減少

- ・一人あたりの医療費が高く、高額レセプトといわれる要因の上位を占めている。
- ・標準化死亡率(SMR)が県平均よりも高く、経年的にも増えている。
- ・大腸がんの受診率が低い。

## Do

### 具体的な取り組み【主な保健事業】

- ・特定健診の受診率向上  
【特定健診未受診者対策事業】
- ・特定保健指導の実施率の向上  
【健診事後指導：健診結果説明会、特定保健指導、精密検査未受診者受診勧奨】
- ・糖尿病重症化防止対策事業の実施  
【糖尿病性腎症重症化予防教室】

P27~32 参照

- ・高血圧対策事業の実施
- ・健診結果説明会における高血圧予防啓発  
【高血圧予防啓発事業】

P35~36 参照

- ・大腸がん検診の受診率向上  
【大腸がん検診受診の啓発活動強化】

P35~36 参照

## Check

### 評価指標(成果)

#### 【短期目標】

##### アウトカム評価

- ・特定健診の受診率向上

| 第1期目標値 | H26   | H27   | H28   |
|--------|-------|-------|-------|
| 36.5%  | 32.7% | 33.8% | 34.3% |

- ・特定保健指導の実施率向上

| 第1期目標値 | H26   | H27   | H28   |
|--------|-------|-------|-------|
| 40.0%  | 28.6% | 33.7% | 31.5% |

- ・高血圧有所見(要指導、要医療)者の割合の減少

| 第1期目標値 | H26   | H27    | H28    |
|--------|-------|--------|--------|
| 46.0%  | 47.7% | 46.98% | 48.41% |

#### 【長期目標】

##### アウトカム評価

- ・脳内出血の標準化死亡率(SMR)

| 第1期目標値 | H26   | H27   |
|--------|-------|-------|
| 100    | 118.9 | 134.5 |
| 100    | 169.6 | 124.9 |

(栃木県保健環境センターより)

#### 【長期目標】

##### アウトカム評価

- ・大腸がん検診の受診率

| 第1期目標値 | H26   | H27   | H28   |
|--------|-------|-------|-------|
| 30.0%  | 23.9% | 25.8% | 24.5% |

- ・大腸(結腸)がんの標準化死亡率(SMR)

| 第1期目標値 | H26   | H27   |
|--------|-------|-------|
| 100    | 124.2 | 103.6 |
| 100    | 134.1 | 76.0  |

(栃木県保健環境センターより)

## Action

### 第2期計画に向けての改善策等

- ・特定健診受診率向上  
年々受診率は微増しているが、国の目標値(60%)には達していない。自己負担額や受診券の発送回数、特に40、50歳代の受診率が低いことから、健診方法の見直しを行う。また、かかりつけ医との連携を進めていく。
- ・特定保健指導実施率の向上  
疾病分類において、生活習慣病患者が多く、医療費も多額であるため、保健指導を実施することにより、生活習慣病の予防、また、メタボ該当者・予備群の減少を図る必要がある。特に個別健診の保健指導実施率の向上を図る。
- ・糖尿病重症化防止対策事業の実施  
腎機能検査項目(e-GFR)の要指導及び要医療者の割合が目標値には達しておらず、年々人工透析の新規導入者数も増加していることから、早期に保健指導を行い、生活習慣を変えることで、腎症の悪化を予防する取り組みが必要である。

#### ・高血圧有所見者割合の減少

小山市国保被保険者の患者数が最も多い疾病は、「高血圧性疾患」であり、健診データからも高血圧の割合が国・県・同規模保険者よりも高く、年々増加傾向にある。健診結果説明会において予防の啓発をし、食生活改善等の保健指導を強化していく。

- ① おやま・まちづくり出前講座
- ② 健診結果説明会にて生活習慣病予防についての視覚的ツールを用いた講話の実施
- ③ 高血圧要指導者への重症化予防セミナーの開催

#### ・大腸がん検診の受診率向上

- ① 大腸がん予防の啓発活動
- ② ダークブルーリボンキャンペーン
- ③ 受診機会の拡大(集団検診<午後>の回数を増やす。)
- ④ 要精検になった方への受診勧奨の推進